

令和元年度 福井県立藤島高等学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切かどうか。
- ・その他

(意見をお聞きした方) PTA会長(1名), 副会長(3名), その他のPTA役員(10名)

○全般的評価について

- ・計画や準備、実施が適切に行われ、予想通りの成果を得られている。主体的に取り組む生徒が9割おり、高く評価される。教職員の方々の日頃の成果と思う。
- ・毎年、職員・生徒・保護者へのアンケートをもとに、1つ1つ評価し、課題を見つけ、意識することは大切であり、適切に行われている。
- ・教職員ひとりひとりの向上意識が高く、その事が生徒達にも伝播し、よりよい校風や進学の未来につながっていると考えている。
- ・全体的に高い評価が得られていると思うが、更なる向上を目指すならば、少数派の否定的な意見を検証すると良い。
- ・教職員が組織としてしっかり機能し、計画を着実に実行している。
- ・本校の校風がとても素晴らしく、生徒が生き生きしている様子を見ると、改善策や向上策が適切であることがうかがえる。
- ・図書について、静粛タイムの継続や魅力ある本を紹介するなどすることで、1・2年の読書量を増やして名著に触れて欲しい。
- ・課題研究において、全員の生徒が希望したテーマ(分野)の研究ができるように工夫が必要である。
- ・研究の授業内容に関心を持たない生徒にもその理由を明確にして、より積極的に取り組めるようにする必要がある。

○学習指導について

- ・教育課程・学習指導ともに常に高い水準の目標設定があり、生徒の潜在能力や意識を引き出している。
- ・教職員の取り組みが生徒にも保護者にもしっかり伝わっていると感じられる。
- ・2年生への授業内容への満足度が他学年より低いことについて原因究明と対策に期待する。
- ・2年生でのモチベーションの上げ方が課題であると感じる。
- ・学力格差の問題について、上位層の強化だけではなく、下位層に対する指導の工夫があると良い。
- ・電子黒板、i p a dなどを活用する方向で検討してほしい。

○生徒指導について

- ・生徒の個性・価値観を認めつつ、しっかり指導している様子がうかがえる。
- ・時代に合わせて生徒の多様性を認めようとする姿勢がうかがえることは素晴らしい。
- ・自転車通学時のイヤホンや携帯電話の使用などの交通マナーを強く指導してもらいたい。
- ・いじめゼロはなかなか難しいが、より良い学校生活を望む。生徒からの発信をきちんと受けてあげて欲しい。
- ・冬季の服装や防寒具について検討や配慮が必要である。

○進路指導について

- ・進路指導は教員と生徒の信頼関係構築に努められ、素晴らしいと思う。
- ・2年生の進路指導における満足度が他学年に比べ低い。学年ごとに進路指導内容の改善・向上をすすめて欲しい。その際は、生徒からの多様な評価を反映させる必要があると考える。
- ・生徒の自主性を大切にする進路指導により生徒は自分の将来を見つめ直すことができたと思う。
- ・3年生の三者懇談時に具体的な資料をもとに指導してもらえてわかりやすかった。
- ・大学一年生に入試体験談を語ってもらえる機会があると良い。

○環境美化について

- ・校内美化に取り組まれ、きれいな校舎や環境の維持がなされている。
- ・保健管理では新型コロナウイルス等の感染に対する対応を求めたい。

○学校と保護者の関係について

- ・アンケートがとても答えやすく協力しやすいよう配慮されている。
- ・マクロ的に大きな目標とそれを解決してゆく具体的な改善策・向上策を先生方、生徒、保護者が共有し、PDCAを実行していくことが適切である。
- ・来年度から入試制度が変わることについて、保護者側から質問したい時に、個人懇談会以外にも質問の方法があるともっと連携できるかと思う。
- ・スマホの利用について、家庭とも連携してマナー向上を進めて欲しい。
- ・保護者懇談やPTA活動の中で保護者の生の声をひろい、指導に活かせる機会を増やしてほしい。

＜「学校関係者評価」を踏まえた今後について＞

- ・毎年マンネリにならないように、少しずつ改善策を「改善」していったほしい。
- ・環境美化の意識、書籍への興味が低いのが残念。生徒の豊かな人間性を育むためには重要な項目であり、改善されることを期待する。
- ・現状にあまんじる事なくさらに向上を重ね、「高みを目指す」「先を見据え確実に前進する」事が必要と感じる。